

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント

## 育苗中のかん水

- ・緑化期以降は根の呼吸も活発になるため、この時期にかん水が多いと床土が過湿になり、根の呼吸が妨げられマット形状が不良になる。育苗初期は午前中に1回充分に行うこと
- ・苗が大きくなった後期には1日に1〜2回を目安に行う

・**夕方のかん水は温度低下や夜間の呼吸を妨げるので避ける**

- ・風で育苗箱の隅が白く乾くので、板等で風よけを作るか、その部分だけをかん水するのがポイント

## 田植え前の準備

- ・もとこえ基肥は入水前に施用し、混和しておくことが重要
- ・代かきは、田植え2〜3日前が標準。砂質土では1日前、重粘土では3〜4日前と土質により変える
- ・田植え前に箱施用剤を育苗箱に施用する

### 《ウンカ対策》

今年もウンカが多発生する可能性が充分ある。発生数が増えてからの防除では、抑える事は難しいため、長期的に効果が続く箱施用剤「フルスロツトル箱粒剤」を使い、発生初期から徹底的に抑え込むこと。

- ・「フルスロツトル箱粒剤」 50g / 育苗箱1枚

## ジャンボタニシ防除

- ここ数年はジャンボタニシの密度が高い年が続いており、越冬するジャンボタニシが多くなっています。
- ・田植え直後の水中の濁りが澄んでからスクミンノン粒剤を10a当り2〜4kg散布（使用回数2回まで）
  - ・散布後7日間は落水やかけ流しをしないこと



田植え前の準備

農業経営支援課 渡辺 彰人